

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	宮田 遼	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3／ファッション販売能力検定試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①、②		教科書 p 8～p11 過去問題演習		
2	ファッション販売知識③		教科書 p 12～p14 過去問題演習		
3	ファッション販売知識④、⑤		教科書 p 15～p16 過去問題演習		
4	ファッション販売知識⑥		教科書 p 17～p18 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p 20～ p 31 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p 32～ p 33 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p 34～ p 36 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④		教科書 p 37～ p 40 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑤		教科書 p 41～ p 43 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑥		教科書 p 44～ p 45 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p 174～ p 181 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p 182～ p 186 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p 186～ p 191 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p 192～ p 197 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅰ				
担当教員	宮田 遼		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションスタイリスト科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3／ファッション販売能力検定試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p 46～p 75 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p 76～p 81 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p 82～p 93 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p 94～p 101 過去問題演習		
5	商品知識⑤		教科書 p 102～p 105 過去問題演習		
6	商品知識⑥		教科書 p 106～p 117 過去問題演習		
7	商品知識⑦、⑧		教科書 p 118～p 135 過去問題演習		
8	商品知識⑨、⑩、⑪		教科書 p 136～p 151 過去問題演習		
9	売り場づくり①		教科書 p 152～p 159 過去問題演習		
10	売り場づくり②		教科書 p 160～p 167 過去問題演習		
11	売り場づくり③		教科書 p 168～p 173 過去問題演習		
12	販売スタッフの業務①、②		教科書 p 198～p 204 過去問題演習		
13	販売スタッフの業務③、④		教科書 p 205～p 209 過去問題演習		
14	販売スタッフの業務⑤		教科書 p 210～p 213 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	後期試験		後期試験		
20	試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	イラストレーターD				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの操作方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの基本的な操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC、IllustratorCCクイックマスター☑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付け・自己紹介・インストール確認・機能紹介		P2～27		
2	ロゴマーク作成・文字ツール①		P88～96		
3	ロゴマーク作成・文字ツール②		P88～96		
4	画像の出力と保存・フォントについて①		P130～148		
5	画像の出力と保存・フォントについて②		P200～204		
6	クリッピングマスク①		P228～234		
7	クリッピングマスク②		P228～234		
8	柄の作り方①		P112～P117		
9	柄の作り方②		P112～P117		
10	ペンツールの使い方・トレース①		P76～88		
11	ペンツールの使い方・トレース②		P76～88		
12	ハンガーイラスト：Tシャツ①		P76～88		
13	ハンガーイラスト：Tシャツ②		P76～88		
14	ハンガーイラスト：Tシャツ③		P76～88		
15	オリジナルロゴ作成①		P184～190		
16	オリジナルロゴ作成②		P184～190		
17	オリジナルロゴ作成③		P184～190		
18	名刺の作り方①		P222～227		
19	名刺の作り方②		P222～227		
20	名刺の作り方③		P222～227		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	イラストレーターD				
担当教員	大倉 敦志	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.イラストレーターの実用操作方法の習得				
学習目標 (到達目標)	イラストレーターの実用操作方法を学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	Adobe IllustratorCC、IllustratorCCクイックマスター☑				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ハンガーイラスト：シャツ①		P76～88		
2	ハンガーイラスト：シャツ②		P76～88		
3	ハンガーイラスト：シャツ③		P76～88		
4	ハンガーイラスト：パンツ①		P76～88		
5	ハンガーイラスト：パンツ②		P76～88		
6	ハンガーイラスト：パンツ③		P76～88		
7	ハンガーイラスト：スカート①		P76～88		
8	ハンガーイラスト：スカート②		P76～88		
9	ハンガーイラスト：スカート③		P76～88		
10	ジャケット・コート①		P76～88		
11	ジャケット・コート②		P76～88		
12	ジャケット・コート③		P76～88		
13	フォトショップについて①		オリジナルテキストにて実習		
14	フォトショップについて②		オリジナルテキストにて実習		
15	フォトショップについて③		オリジナルテキストにて実習		
16	レイヤーと選択範囲・マスクについて①		オリジナルテキストにて実習		
17	レイヤーと選択範囲・マスクについて②		オリジナルテキストにて実習		
18	レイヤーと選択範囲・マスクについて③		オリジナルテキストにて実習		
19	画像の合成①		オリジナルテキストにて実習		
20	画像の合成②		オリジナルテキストにて実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			講義で学んだことを踏まえ課題に取り組む。クオリティが低い場合は、再提出とする事がある。全ての課題を提出する事。		
実務経験教員の経歴	県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。				

科目名	ファッションマーケティング				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	アパレル業界の産業構造を知ることにより、アパレル業界の具体的な企業、職種、取り組みについての知識を習得し、職業理解を深める。また、近年のアパレル業界についてトレンド事業についても調査する。				
学習目標 (到達目標)	アパレル業界の理解を深め、職業選択の参考にしてもらい、就職活動に生かす。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ファッションビジネス論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	セレクトショップの取り組み シップス		企業調査		
2	アパレル企業説明 オンワード樫山		企業調査		
3	アパレル企業説明 ワールド		企業動画、企業研究		
4	アパレル企業説明 T S Iホールディングス		企業動画、企業研究		
5	ファストファッションの特徴と問題点 H&M		レポート作成		
6	ファストファッションの特徴と問題点 ザラ		レポート作成		
7	ファストファッションの特徴と問題点 ユニクロ		プレゼン		
8	ファストファッションの特徴と問題点 しまむら		講義、動画、レポート作成		
9	アパレル業界の職業についてデザイナー・パタンナー		講義、動画、レポート作成		
10	アパレル業界の職業についてMD		企業調査		
11	アパレル業界の職業についてバイヤー		企業調査		
12	アパレル業界の職業についてマーチャンダイザー		企業調査		
13	アパレル業界の職業について営業		企業調査		
14	アパレル企業研究 ファストファッション		企業研究と企業紹介		
15	アパレル企業研究 ファストファッションの問題		企業研究と企業紹介		
16	アパレル企業研究 アパレルメーカーの仕組み		企業研究と企業紹介		
17	アパレル企業研究 セレクトショップ		企業研究と企業紹介		
18	アパレル企業研究 子供服企業		企業研究と企業紹介		
19	まとめレポート		課題企業研究レポート		
20	まとめレポート		課題企業研究レポート		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート60% プレゼン40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	ファッションマーケティング				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. マーケティングの基本的な知識の習得 2. ブランド企画書を作成 3. 販売経路や差別化を知る				
学習目標 (到達目標)	ファッション産業においての必要とされる専門用語、流通の仕組み知識を幅広く学び、ファッション販売検定の取得、業界の全体像をつかむ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション		マーケティング授業の方針やルールなど		
2	INTRODUCTION 自己紹介 マーケティングとは考え方 進め方		マーケティングの基本的な考え方		
3	戦略と戦術 STP		戦略と戦術について		
4	STPパワーポイントの使い方		パワーポイントの使い方		
5	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
6	ポジショニング課題		ポジショニングとは講義		
7	ポジショニングプレゼン		ポジショニング課題のプレゼンテーション		
8	4Pについて		4Pについて		
9	4Pについて		4Pについて		
10	ブランドアイデンティティ		ブランドアイデンティティについて		
11	ファッションテイスト		ファッションのテイストについて		
12	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
13	企画書作成 コンセプト ネーミング		ブランド企画書作成		
14	企画書作成 ポジショニング		ブランド企画書作成		
15	企画書作成 スタイルマップ		ブランド企画書作成		
16	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
17	企画書作成 差別化		ブランド企画書作成		
18	企画書作成 ニーズとウォンツ		ブランド企画書作成		
19	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
20	企画書作成 囲い込み		ブランド企画書作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1年間で色彩学を学ぶ内容を説明。自分の好きな色・嫌いな色を考える		演習 配色ワークブックP3.4 色相環・好きな色・配色と嫌いな色・配色を作成する。		
2	色の分類・無彩色・有彩色・色の三属性について(色相・明度・彩度)についての理解		テキストP24～P27・P30・P31		
3	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 心理四原色・24色相について		テキストP31～P35		
4	PCCSについての色の三属性(色相・明度・彩度)についての理解 トーン表について。トーン分類の仕方を覚える。		テキストP31～P35・小テスト24色相		
5	光と色について 光のエネルギー・電磁波の模式図の解説・太陽とスペクトル・プリズム分光の説明		テキストP6～P8・小テストトーン表		
6	反射・吸収・透過・屈折・干渉・回折・散乱の解説		テキストP9～P12		
7	眼の仕組み。視細胞照明の見え方		テキストP13・P15		
8	照明と色の見え方		テキストP16・P17		
9	混色について解説 加法混色・減法混色		テキストP18～P23		
10	清色・等色相面・色立体・JISについて解説		テキストP28～P29・P33～P35・P40～P41		
11	色の視覚効果・対比とは(色相対比・明度対比・彩度対比・補色対比・縁辺対比)		テキストP48～P51		
12	補色対比・縁辺対比		テキストP52～P53 ワークシート		
13	色の視覚効果・同化とは(色相同化・明度同化・彩度同化)		テキストP54～P57		
14	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(同一・隣接・類似)		テキストP62～P69		
15	色彩調和・色相を手掛かりとした配色(中差・対照・補色)		テキストP70～P75		
16	色彩調和・トーンを手掛かりとした配色		テキストP76～P81		
17	セパレーション・アクセント・グラデーション		テキストP82～P87		
18	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP42～P47		
19	色彩心理・色の心理的效果について・色の知覚的效果について		テキストP58～P61		
20	復習・まとめ		前期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、ワークシート30%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	色彩学				
担当教員	河田 愛		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	色彩検定3級・パーソナルカラー検定モジュール1の検定取得を目指し、色彩に関する知識を習得する。演習でのワークシート作成で、色を見分ける力を養う。				
学習目標 (到達目標)	色彩検定3級合格・パーソナルカラーモジュール1合格を目指す。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	色彩検定3級編テキスト・パーソナル検定テキスト・パーソナルカラー配色ワークブック・配色カード・パーソナルカラー配色カード・模擬問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	色彩効果・色彩と構成について		テキストP90～93		
2	色彩と生活・生活環境と色彩・ファッションとは・ファッションと色彩		テキストP94～P105		
3	インテリア・インテリアと色彩・インテリアのカラーコーディネート		テキストP106～P111		
4	検定対策		模擬問題テスト・解説		
5	検定対策		模擬問題テスト・解説		
6	検定対策		模擬問題テスト・解説		
7	検定対策		模擬問題テスト・解説		
8	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
9	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
10	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
11	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
12	パーソナル検定対策授業		テキスト・パーソナルカラーワークブック使用		
13	パーソナルカラードレープ実習①		実習 ドレープで肌色診断		
14	パーソナルカラードレープ実習②		実習 ドレープで肌色診断		
15	パーソナルカラードレープ実習③		実習 ドレープで肌色診断		
16	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
17	配色①(2級テキスト) ナチュラル・コンプレックス・トーンオントーン・トーンイントーン・ドミナント(カラー・トーン)		演習 ワークシートでにて配色を理解		
18	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
19	配色①(2級テキスト) トーナル配色・ピコロール・ロリコロール		演習 ワークシートでにて配色を理解		
20	まとめ		後期まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験40%、レポート25%、実技試験25%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			色彩学で学んだことをしっかりと認識して検定に臨むこと。全体の80%以上を出席し、かつ全ての課題を提出しなければならない。ワークシートに不備がある場合再提出とする。		
実務経験教員の経歴	色彩検定1級とモジュール2を取得、ヘアメイク実務歴13年				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	ワード検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Wordクイックマスター基本編・Word過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ワードの基本		起動から終了までP2～P19 演習P20		
2	編集の基本操作		新規文書の作成から文字入力P22～40		
3	編集の基本操作		P41～51 演習P52		
4	文書の編集①		書式設定～・網掛けP54～60		
5	文書の編集②		P61～83 演習P84		
6	文書の印刷設定①		改ページから印刷の実行P86～97 演習P98		
7	文書の作成②		あいさつ文からビジネス文書の作成P100～110		
8	文書の作成③		P111～121		
9	文書の作成④		P122～131 演習P132		
10	表の作成①		作成から装飾P134～145		
11	表の作成②		P146～165 演習P166		
12	図形や画像①		ワードアートからアイコンの挿入P168～179		
13	図形や画像②		P180～190		
14	図形や画像③		P191～201 演習P202		
15	総合学習問題		テキストP204～208		
16	検定対策		過去模擬問題①		
17	検定対策		過去模擬問題②		
18	検定対策		過去模擬問題③		
19	検定対策		過去模擬問題④		
20	検定対策		過去模擬問題⑤		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること		
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				

科目名	パソコン実習				
担当教員	河内 美佐子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.テキストを使用した講義 2.パソコンを使用した演習 3.過去問題の実施				
学習目標 (到達目標)	エクセル検定3級取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パソコン・Excelクイックマスター基本編・Excel過去問題試験問題集3級				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	エクセルの基本	起動から終了P2～20 演習P21, 22			
2	データの編集	新規ブックから保存P24～54			
3	データの編集	演習P55, 56			
4	表の編集	罫線から行・列の挿入P58～82			
5	表の編集	演習P83, 84			
6	ブックの印刷	表示モードから印刷範囲P86～100 演習P101, 102			
7	グラフと図形	グラフと図形の作成P104～138			
8	グラフと図形	演習P139, 140			
9	ブックの利用と管理	ワークシートの管理、ウィンドウの操作P142～P153			
10	ブックの利用と管理	演習P154, 155			
11	関数	統計から日付P158～188			
12	関数	演習P189, 190			
13	データベース機能	リスト作成からテーブル機能P192～210			
14	データベース機能	演習P211, 212			
15	総合学習問題	テキストP214～217			
16	検定対策	過去模擬問題①			
17	検定対策	過去模擬問題②			
18	検定対策	過去模擬問題③			
19	検定対策	過去模擬問題④			
20	検定対策	過去模擬問題⑤			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業内テスト評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		テキスト・問題集・パソコンは必ず持参すること			
実務経験教員の経歴	サーティファイ Word,Excel検定対策授業を9年経験				

科目名	ショッププロデュースⅠ				
担当教員	宮田 遼		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1. ショップのレイアウト店舗デザインの基礎知識 2. ショップ企画書を作成 3. ショップ企画書を基にショップ制作を行う				
学習目標 (到達目標)	店舗デザイン・レイアウトの基礎知識を学び、店舗運営に役立てる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	講義 授業の目的・課題説明 店舗レイアウトの基礎知識講義。課題① ショップのレイアウト企画		講義導入と成績評価・前期就学ポイントについて		
2	講義 レイアウトでのポイント 発注用紙作成説明。宿題予算3000円		講義 レイアウトについて模型発注用紙記入		
3	講義 滞在時間を増やす工夫		講義 SHOPのレイアウトについて滞在時間を増やすレイ アウトとは		
4	講義 入りづらい店とは？お客様の目で見て最も目立つ場所は？		講義 入店しやすい店・しにくい店		
5	SHOP 企画書作成		SHOP 企画書の作成 注意事項。のりはさみ・ボード など準備		
6	講義 入店客数を増やすのに役立つことは？入りづらい店とは？		講義 入店数を増やす仕組み		
7	講義 遠くのお客様の目を引くには？お客様の興味を引くディスプレイと は？		講義 目をひくディスプレイやサイン看板について		
8	SHOP 企画書作成		SHOP 企画書の作成 ボードにレイアウトを作成		
9	SHOP 企画書作成		SHOP 企画書の作成 什器など作成		
10	講義 1目でお客をひきつけるディスプレイとは？つい手にとってしま いたくなる魅せ方とは？		講義 ひきつけるディスプレイの効果		
11	講義 何を1番に売りたいのかを知らせるには？レイアウトとは		講義 販売したいものの見せ方。レイアウトについて		
12	SHOP 企画書作成 完成		SHOP 企画書完成		
13	SHOP 模型製作1		企画書を基にした模型の製作1		
14	SHOP 模型製作2		企画書を基にした模型の製作2		
15	SHOP 模型製作3		企画書を基にした模型の製作3		
16	SHOP 模型製作4		企画書を基にした模型の製作4		
17	SHOP 模型製作5		企画書を基にした模型の製作5		
18	SHOP 模型製作6		企画書を基にした模型の製作6		
19	プレゼンテーション		SHOPプレゼンテーション		
20	展示準備・展示		展示		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			課題評価とプレゼンテーションでの評価		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	店舗運営Ⅰ				
担当教員	宮田 遼	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1階店舗を運営やマネジメントを行う。 商品の仕入れ、買付け、売り場づくり、売上管理、在庫・仕入れ管理、販売業務を行う。 実践的に学ぶ為、クラス内で店長、副店長、VMD、PR、仕入れ等の役職を作る。				
学習目標 (到達目標)	店舗運営の1日の流れを把握し、店舗をうまく機能させ、売上を伸ばす。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール・導入		授業ルールの説明		
2	ショップの構想・役職決め		ショップの方向性やショップ名、クラス内での役職決め		
3	ショップの構想・役職決め②		ショップの方向性やショップ名、クラス内での役職決め②		
4	5S、クレンリネス、在庫管理について		5S、クレンリネス、在庫管理の大切さについて講義、実施		
5	各部門内での施策話し合い・予算決め		実施したい内容を各部門(VMD,PR,仕入れ,買付け)で挙げる。		
6	各部門内での施策、実施		施策内容の実施。		
7	計数管理		店舗運営に関わる計数管理、講義		
8	ディスプレイ編集・POP作成		ディスプレイやラックの変更。商品の入れ替え。		
9	リテール分析		小売業の分析、細分化について		
10	商品仕入れ		販売商品の選別		
11	ショップリニューアルに向けた準備		ショッパーや値札、タグ等、店舗備品の確認や作成		
12	各部門 販売会議		ショップの現状と改善事項を挙げる		
13	品番・価格設定・利益率について		品番設定、価格設定、利益率について講義		
14	タグ付け		作成したタグ付けの実施		
15	季節商品入れ替え		ショップ内の季節商品の入れ替え		
16	各部門 販売会議 予算修正、販売計画		ショップの現状と改善事項を挙げる		
17	施策内容の見直し、改善		施策内容の見直しと改善の実施		
18	ショップレイアウトの変更		客層や季節にあったレイアウトに変更		
19	セール準備		セール商品の選別、タグの付け替え等		
20	予算に対しての実績や利益率の 各部門 次年度に向けた販売会議		次年度さらに売れるお店にするには 問題提示と改善案		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			授業への意欲や態度が評価になるが、企画書やSHOPシフトの出動状況によって減点する場合もある。		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ファッション史				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション史 導入		授業の取り組み方について		
2	バロック時代		ドレス、時代について 画像、映画参照		
3	ロココ時代①		ドレス、時代について 画像、CM、映画参照		
4	ロココ時代②～マリーアントワネットの生き方～		ドキュメンタリー参照		
5	新古典主義		ドレス、時代について 画像、映画参照		
6	レポートの書き方について～テーマ選び～		課題説名		
7	レポート発表		グループ毎にプレゼン		
8	1900年代までのドレスまとめ		ドレス、時代についての総まとめ		
9	1910年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、映画参照		
10	1920年 女性ファッションと文化		女性ファッションと時代について、価値観の変化 画像、映画参照		
11	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
12	1940年代のファッションと文化		戦争中のファッションについて		
13	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
14	1950年代のファッションと文化		戦後のファッション		
15	まとめ小テスト		小テストにて評価		
16	パンクムーブメント		パンクの歴史		
17	80年代ブランドブーム		80年代のブランドについて		
18	90年代バブルファッションについて		90年代のバブルファッション		
19	デニムの歴史		デニムの歴史について		
20	前期試験対策		前期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	ファッション史				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	ファッションの流行の変遷だけでなく、社会情勢や習慣の変化、価値観の変化も含めて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ファッションスタイルの歴史を学ぶことで、デザインのルーツや知識を習得する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	教科書 ストリートスタイル				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	1930年～1940年 女性ファッションと文化		ファッション、文化 画像映画参照		
2	1950年 女性ファッションと文化、デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
3	1960年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
4	1970～1980年 ファッションと文化 デザイナーについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
5	1990年 ファッションと文化、レポートについて		ファッション、文化について、課題について		
6	ジーンズの歴史		ジーンズのルーツ、日本のジーンズとの関わり		
7	ヒップホップのファッション歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
8	モッズファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
9	サイケデリックファッションの歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
10	ギャルファッションについて		ファッション、文化について 画像、映画参照		
11	海外ファッションの移り変わりまとめ		ファッション、文化について 画像、映画参照		
12	ココシャネル映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
13	イブサンローラン映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
14	マリーアントワネット映画 歴史について		ファッション、文化について 画像、映画参照		
15	まとめレポート感想		まとめレポート作成		
16	グランジファッション		ファッション、文化について 画像、映画参照		
17	メイクの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
18	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
19	コレクションの歴史		ファッション、文化について 画像、映画参照		
20	後期試験解説		後期試験範囲の説明・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題 レポート10%、試験 90% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ファッション史を通して、デザインの意味、ルーツ、知識を習得し、デザインする上でのインスパイヤーとなったり、表現の幅を広げるものとする。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名	コーディネートⅠ				
担当教員	宮田 遼	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	コーディネート基礎的な部分を学ぶ授業。自分、他人のコーディネート进行分析理解を深める。トレンド、TPO、各テイストについての知識を習得し、それぞれのカテゴリーに落とし込んだコーディネートを作ることができる。また、コーディネートが多く作り、他者のイメージに合わせたコーディネートを作れるようになる人材を育成。				
学習目標 (到達目標)	トレンド・体系別・カラー・テイストを理解したコーディネート提案ができる。実際に組み合わせを理解企画し実際にコーディネートを作成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業ルール・導入		授業ルール配布。		
2	テイスト講義		テイスト講義		
3	テイストスタイリング着せ付け、撮影		テイスト作成、撮影		
4	カラーコーディネート 講義、企画作成		カラーコーディネートについて 講義、企画指示		
5	トレンドとは？ 講義		トレンドについてのプリント配布、講義。		
6	2020S/Sトレンドカラージュマップチーム作成・調べ方レクチャー ファッション生活2つの側面		チーム分けしてSSトレンド情報収集方法をレクチャーし カラージュマップ作成。		
7	2020S/Sトレンドカラージュマップチーム作成		チームごとでカラージュマップ作成実施。		
8	ファッションとライフスタイルとは？について		ファッションとライフスタイルの関係についてのプリント 配布。		
9	コーディネートの基本 (A・Y・Iライン講義)		各シルエットについて例題作成。		
10	A・Y・Iライン 実制作、撮影		コーディネートを作成し、写真を撮影しワークシート作 成。作成後提出。		
11	A・Y・Iライン ワークシート作成		写真取り込み、ワークシート作成。作成後提出。		
12	TPO講義		TPOについての講義。フォーマル、カジュアルについて		
13	TPOスタイリング プランニング作成		TPOスタイリングのプランニング作成		
14	TPOスタイリング 着せ付け、撮影		TPOスタイリングをトルソーに着せ付け写真撮影。		
15	TPOスタイリング ワークシート完成		TPOスタイリングをPCにてワークシート作成。		
16	チーム別2019年AWトレンドキーワード調査		チーム分けをしてAWトレンド調査実施。		
17	チーム別2019年AWトレンドキーワード調査 マップ作成		チーム分けをしてAWトレンド継続調査。 キーワードをマップにして作成。		
18	チーム別2019年AWトレンドキーワードマップ プレゼン		キーワードマップ作成、プレゼン実施		
19	前期まとめ (バランスコーデ、TPO)		前期のまとめテスト実施。		
20	前期まとめ (自分のコーディネート分析)		自分のコーディネート分析シート作成。		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)		A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。			
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	コーディネートⅠ				
担当教員	宮田 遼	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	コーディネート基礎的な部分を学ぶ授業。自分、他人のコーディネート进行分析理解を深める。カラー、素材、体型カバーについての知識を習得し、それぞれのカテゴリーに落とし込んだコーディネートを作ることができる。ブランドイメージに合ったコーディネートを作り企業の即戦力になれる人材を育成する。				
学習目標 (到達目標)	トレンド・体系別・カラー・テイストを理解したコーディネート提案ができる。実際に組み合わせを理解企画し実際にコーディネートを作成する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	キレイめとカジュアルについて 講義		キレイめとカジュアルについてのプリント配布		
2	テイスト講義 プランニングシート作成		テイストについてのプリント配布。プランニングシートをPCで作成。		
3	テイストスタイリング着せ付け 撮影		テイストスタイリング着せ付け実施。カメラで撮影後、PC取り込みワークシート作成。		
4	カラー、トーン別スタイリング 講義		カラー、トーン別スタイリングについてのプリント配布し講義。		
5	カラー、トーン別スタイリング プランニング、コラージュマップ作成		カラー、トーン別スタイリングについてプランニング、コラージュマップ作成		
6	カラー、トーン別スタイリング 着せ付け、撮影		カラー、トーン別でスタイリングを組んで着せ付け。カメラで撮影後PC取り込みシート作成。		
7	素材別スタイリング 講義		素材別のスタイリングについて講義		
8	素材別スタイリング プランニング、コラージュマップ作成		素材別のスタイリングのプランニング、コラージュマップ作成。		
9	素材別スタイリング 撮影、ワークシート作成		素材別のスタイリング撮影、ワークシート作成。		
10	体型カバー 講義		体型カバーについてのプリント配布。		
11	体型カバー 撮影		体型カバーの実制作とカメラで撮影。		
12	体型カバー ワークシート作成		写真のPC取り込みとワークシートを作成。		
13	トレンド講義		トレンドについてのプリント配布、講義		
14	トレンドコーディネート プランニング		トレンドを踏まえたコーディネートのプランニング。2体以上のコーディネート案策定。		
15	トレンドコーディネート 作成、撮影		トレンドコーディネート作成 2体以上のコーディネート、小物類までトレンドを含める。		
16	トレンドコーディネート ワークシート作成		トレンドコーディネートのワークシート作成。		
17	修了課題 企画作成		1年間のまとめとして今まで学んだことを活かして企画作成。シルエット、テイスト、カラー、TPOを加味		
18	修了課題 買い出し		企画に沿ったアイテム探し、買い出し		
19	修了課題 撮影		修了課題 撮影		
20	修了課題 発表		修了課題 発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	アパレルデザインⅠ				
担当教員	朔 奈保子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.デザイン画の基本である人体のバランス良く描ける 2.ヌードに着装した洋服をバランスよく描ける 3.ハンガーイラストをバランス良く描ける 4.素材表現着彩技法を学ぶ 5.デッサン力を身につける 6.デザインの発想力を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	1. デザイン画をバランス良く（9等身）描ける技術やデザイン素材に合う着彩能力を身につける。 2. ハンガーイラスト技法の習得 3. デザイン発想力の習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	デザイン画				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入。ヌードバランス・顔の描き方など		教科書P12～P17（様々なヌードバランス）宿題ト レース5体		
2	ヌード色々なポーズ。描き方のコツ手・脚		教科書P12～P17（様々なヌードバランス）宿題画 用紙にヌード1体・目・口のプリント		
3	ヌード色々なポーズ。描き方のコツ手・脚		教科書P12～P17（様々なヌードバランス）宿題 手・脚の様々なポーズ		
4	ヌード色々なポーズ。描き方のコツ手・脚		教科書P12～P17（様々なヌードバランス）宿題画 用紙に水着・下着のデザイン2体 鉛筆描き		
5	着装練習① シャツ・パンツ・スカート		服の着装やディテールについて説明。バランス良く描く		
6	着装練習② ワンピース・ジャケット		服の着装やディテールについて説明。バランス良く描く		
7	着装練習③ コート・ブルゾンなど		服の着装やディテールについて説明。バランス良く描く		
8	ペン入れ・トレース		着装とペン入れについて解説		
9	着彩水彩① 水彩の基本		着装水彩着色方法について素材表現		
10	着彩水彩② 水彩での素材表現		着装水彩着色方法について素材表現		
11	着彩水彩③ 様々な素材表現		着装水彩着色方法について素材表現		
12	着彩パステル・色鉛筆		着装水彩着色方法について素材表現		
13	ハンガーイラスト1		製品図の書き方 スカート		
14	ハンガーイラスト2		製品図の書き方 パンツ		
15	ハンガーイラスト3		製品図の書き方 シャツ		
16	ハンガーイラスト4		製品図の書き方 ジャケット		
17	ハンガーイラスト5		製品図の書き方 コート		
18	ハンガーイラスト6		製品図の書き方 ワンピース		
19	ハンガーイラスト7		製品図の書き方 ブルゾン		
20	自由課題 2時間にて1体		夏休み課題。着装・着彩10枚		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	イラスト講師 14年				

科目名	アパレルデザインI				
担当教員	朔 奈保子		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションデザイン科、 コスチュームデザイン科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.デザイン画の基本である人体のバランス良く描ける 2.ヌードに着装した洋服をバランスよく描ける 3.ハンガーイラストをバランス良く描ける 4.素材表現着彩技法を学ぶ 5.デッサン力を身につける 6.デザインの発想力を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	1. デザイン画をバランス良く（9等身）描ける技術やデザイン素材に合う着彩能力を身につける。 2. ハンガーイラスト技法の習得 3. デザイン発想力の習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	デザイン画				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	前期復習 着 装 モードコピー		コレクションから模写しバランスよく描く		
2	子供服		子供のバランス		
3	メンズ		メンズのバランス		
4	ドレスのデザイン		ドレスデザイン		
5	カジュアルトレンドデザイン		トレンド授業とトレンドを使ったデザイン画 市場リサーチを宿題		
6	コラージュの作り方		コラージュマップを作る（色々な切り抜きなどを配置する）		
7	デザイン発想力		様々なデザインの展開を考えてデザインする。テイスト		
8	自由課題		自分のブランドを考え企画書作り		
9	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
10	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
11	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
12	セコリデザイン画作成・中間チェック		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
13	トレンド授業 トrendを使ったデザイン画		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
14	ブランド企画書作成		ブランド企画の作り方（マーケティング）		
15	ブランド企画書プレゼンテーション審査1		制作したブランド企画書のプレゼンテーション		
16	ブランド企画書プレゼンテーション審査2		制作したブランド企画書のプレゼンテーション		
17	ブランド企画書プレゼンテーション審査3		制作したブランド企画書のプレゼンテーション		
18	就職用デザイン画作成1		就職用デザイン画の描き方方法		
19	就職用デザイン画作成2		就職用デザイン画の描き方方法		
20	最終課題2時間で1枚 着 装 ・着 色		2時間自由課題制作。提出		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
実技課題90%、学習意欲10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			課題を毎週提出し技術力の向上を図る。また課題評価。評価の高い課題の解説を行う。		
実務経験教員の経歴	イラスト講師 14年				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	VMD I				
担当教員	久島 実里	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	商品のディスプレイを実際に学び、什器の名称、並べ方や陳列方法を学ぶ商品により魅力的に見せる見せ方を学んでいく。実際の什器を用いて実習を行いレイアウト、使用方法等を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	基本陳列、什器の種類理解。商品ケア方法の習得。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	よくわかる色とディスプレイ (教材)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動機付け、VMDとは？VMDの3要素について。		授業ルール配布、VMDの3要素についてプリント配布、講義。		
2	陳列方法講義、実践		陳列のルールプリント配布、講義、実践。 よくわかる色とディスプレイ (62P~69P)		
3	6構成 (講義→リサーチ→レポート)、三角構成、VPPPIP店舗レポート		6構成についてのワークシート配布。ショッピングリサーチ実施、レポート作成		
4	商品分類について 講義 (グルーピング、ゾーニング、ディスプレイ)		商品分類講義		
5	売場環境について (レイアウト、各スペースなど) 講義、実践		売場環境についてショップにて講義、実践		
6	三角構成 [プランニング]		三角構成プランニング用ワークシート配布		
7	三角構成 [実制作]		PCを使用して三角構成の制作。		
8	三角構成 [撮影]		制作後撮影実施。プレゼン		
9	三角構成 [発表、まとめ]		先週作成した作品の発表とまとめプリント配布。		
10	Tシャツを使って思わず欲しくなるようなディスプレイ[プランニング、シート作製]1		ディスプレイプランのワークシート配布。		
11	Tシャツを使って思わず欲しくなるようなディスプレイ[プランニング、シート作製]2		ディスプレイプランのワークシート配布。シート作成		
12	Tシャツディスプレイ[プレゼン]		ディスプレイ企画 プレゼン		
13	Tシャツディスプレイ[プレゼン]		ディスプレイ企画 プレゼン		
14	Tシャツディスプレイ[実制作、撮影]		ワークシート制作、撮影		
15	万代リサーチ		万代リサーチ実施。その後レポート提出。		
16	万代リサーチ		万代リサーチ実施。その後レポート提出。		
17	店舗運営について講義。FB2から引継ぎ。		店舗運営についての講義。2年生よりSHOP内容引継ぎ。		
18	まとめ、季節ごとのVMDイベント		まとめのプリント配布。季節によるVMDイベントの解説		
19	まとめ、テスト実施		まとめのプリントからテスト実施。		
20	テスト解説		テスト返却と解説。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	VMD I				
担当教員	久島 実里		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	「見やすい、選びやすい、買いやすい」売り場の作成を実習で行い学んでいく。 商品自体を魅力的に見せるために商品ケアや着せ付け方を学んで店舗運営につなげていく授業。				
学習目標 (到達目標)	基本陳列、什器の種類を理解。商品ケア方法の習得。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	よくわかる色とディスプレイ (教材)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ハロウィンディスプレイ[プランニング]		ハロウィンに向けたディスプレイプランをチームで企画し パワーポイントで作成。		
2	ハロウィンディスプレイプラン プレゼン、修正		企画のプレゼンを実施し採用企画を修正。		
3	ハロウィンディスプレイプラン 買い出し 実制作		採用企画を買い出し班と準備班に分けて実制作に移る。		
4	ディスプレイルームへハロウィンディスプレイ作成。		ディスプレイルームへディスプレイ展示。		
5	X'masディスプレイ プランニング		X'masのディスプレイプランをチームで企画しパワーポイ ントで作成。		
6	X'masディスプレイ プレゼン、修正		企画のプレゼンを実施し採用企画を決めて修正を実施。		
7	X'masディスプレイ 買い出し		買い出し実施。		
8	X'masディスプレイ 買い出し、実制作		買い出し班と準備班に分かれて実制作へ移る。		
9	VMDにおける色の重要性とは? 実践		色の重要性についてワークシート作成、撮影。		
10	VMDにおける色の重要性とは? 講義		色の重要性について講義、ワークシート配布		
11	リサーチ実践		ショッピングリサーチを行いトレンド、ポイントの調査		
12	アイテムケアについて1		衣類などのケア方法、洗濯について講義。		
13	アイテムケアについて2		革物のケアについて講義、実践。		
14	ネクタイの結び方 講義、実践		ネクタイの結び方の種類、テクニック講義、実践		
15	バイイングに向けた準備、講義。		バイイングについての講義。		
16	1年間のまとめ、1年次最終課題制作。		1年間のまとめプリント配布。1年間で学んだことを活か してテーマを決めて課題制作実施。		
17	課題制作 (プレゼン実施)		課題制作。プレゼン実施。		
18	課題制作 (プレゼン実施)		課題制作。プレゼン実施。		
19	課題制作 実制作、買い出し		課題制作。買い出し実施、実制作		
20	課題制作 撮影、ディスプレイ		課題制作。撮影、ディスプレイ作成。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)			A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	家政系大学卒業後、アパレル販売職を4年経験後、企画職を3年間経験				

科目名					
WEBショップI					
担当教員		大倉 敦志		実務授業の有無	
				○	
対象学科		ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科		対象学年	
				1	
必修・選択		必修		開講時期	
				前期	
授業形態		対面授業のみ		単位数	
				2	
		対面授業と遠隔授業の併用		時間数	
				40時間	
授業概要、目的、 授業の進め方		MAKESHOPというWEBサイトを使用し実際にNETSHOPを企画、立ち上げる。 またWEB上のメリット、デメリットを理解しより良いNETSHOPがどのようなサイトなのかを考え、学んでいく授業。			
学習目標 (到達目標)		WEBSHOPの開設 ネットショッピングの基本的な知識からお店のプランニング、実際に開店するまでの事を学び、合わせてPCスキルの基礎までを学ぶ。			
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		開店講座			
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	授業ルール、意識付け、導入 WEBと実店舗のメリット、デメリット			授業ルール配布。WEBと実店舗のメリットデメリットについてのプリント配布。	
2	様々なWEBサイトのページ比較 ワークシート実施			ワークシートを配布し各WEBSHOPについてのワークシート作成。	
3	好きなブランドのWEBサイトの良い点を画像を入れてワークシート作成			好きなブランドのWEBサイトを2つピックアップし、画像を挿入してワークシート作成。	
4	ショップコンセプト作成1			コンセプトについて講義。有名ブランドのコンセプトなどを紹介。	
5	ショップコンセプト作成2			ショップコンセプトシート配布。コンセプト、キャッチコピー、ターゲット、プライスレンジなどの設定	
6	ショップコンセプト作成3			ショップコンセプトシート、企画書作成。	
7	ログイン			MAKESHOPログインを実施。	
8	ショップ名を付ける			ショップ名作成にあたってショップ名の由来などをワークシートを使用して作成。	
9	ショップ制作開始、ログイン(P17～)			ショップ制作開始 開店講座P17～	
10	取り扱い商品策定			取り扱い商品の策定	
11	取り扱い商品画像収集			取り扱い商品の画像をPCにて収集	
12	会社基本情報			会社基本情報19、20P	
13	ドメインとは			ドメインとはについて講義	
14	お問い合わせ			お問い合わせ21、22P	
15	会社紹介			会社紹介の設定 24P	
16	タグ、品番とは			タグ、品番について講義	
17	利用案内について			利用案内について講義	
18	トップ画像 収集			PCにてトップ画像のイメージ探し	
19	トップ画像 収集			PCにてトップ画像のイメージ探し	
20	トップ画像制作			トップ画像制作	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシートの取組意欲、WEBSHOPの出来栄で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)				PC、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。	
実務経験教員の経歴		県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。			

科目名						WEBショップI					
担当教員		大倉 敦志		実務授業の有無		○					
対象学科		ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科		対象学年		1		開講時期		後期	
必修・選択		必修		単位数		2		時間数		40時間	
授業形態		対面授業のみ		対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業					
授業概要、目的、 授業の進め方		自分のNETSHOPを立ち上げる。アイテムの載せ方、写真の撮り方、商品登録、WEBサイトのデザインなど、総合的に学ぶ授業。卒業後に即NETSHOPを立ち上げることができるように学んでいく。									
学習目標 (到達目標)		WEBSHOPの解説 ネットショッピングの基本的な知識からお店のプランニング、実際に開店するまでの事を学び、合わせてPCスキルの基礎までを学ぶ。									
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		開店講座									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	セールの効果について					セールについての講義。					
2	カテゴリーの設定					カテゴリーの設定					
3	商品画像収集					取り扱い商品の画像をインターネットで収集					
4	商品画像収集					取り扱い商品の画像をPCにて入れ込みショップへ。					
5	商品登録1					アプリケーションを使用して商品の登録をする。					
6	商品登録2					アプリケーションを使用して商品の登録をする。					
7	ショップロゴ、ヘッダー、バナーについて					ショップロゴ、ヘッダー、バナーについて 32,33P					
8	ショップロゴ作成2					ショップロゴをPCにて作成。					
9	ヘッダー作成					ヘッダーをPCにて作成。					
10	バナー作成					バナーをPCにて作成。					
11	デザインテンプレート、カテゴリー画面デザイン作成					テンプレート作成、カテゴリー画面のデザインをPCにて作成。					
12	デザインテンプレート、カテゴリー画面デザイン作成					テンプレート作成、カテゴリー画面のデザインをPCにて作成。					
13	WEBショップ最終チェック					自身のWEBショップの最終チェック。					
14	WEBショップ 完成 プレゼン。					自身のWEBショップの仕上げ。完成 プレゼン実施。					
15	WEBショップ プレゼン。					自身のWEBショップのプレゼン実施。					
16	SEO対策とは SEOキーワード帳制作					SEO対策とは？(P7) 講義 キーワード帳作成					
17	SEOキーワード帳制作					キーワード帳作成					
18	テスト注文 実施					テスト注文 実施 52,53P					
19	発送処理について					発送処理や梱包について 54,55P					
20	SNSについて まとめ					SNSについての講義 1年間のまとめ					
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシートの取組意欲、WEBSHOPの出来栄等で点数の増減 (±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)						PC、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。					
実務経験教員の経歴		県内ニッターでパタンナー、生産管理を歴任。フリーランスでWEBデザインやブランディングを経験。									

科目名	商品素材知識B				
担当教員	宮田 遼		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入・検定説明		教科書 P8		
2	ファッション販売技術①		教科書 P20～P22 過去問題演習		
3	ファッション販売技術②		教科書 P23～P27 過去問題演習		
4	ファッション販売技術③		教科書 P28～P32 過去問題演習		
5	ファッション販売技術④		教科書 P33～P39 過去問題演習		
6	ファッション販売技術⑤		教科書 P40～P45 過去問題演習		
7	商品知識①		教科書 P46～P49 過去問題演習		
8	商品知識②		教科書 P50～P54 過去問題演習		
9	商品知識③		教科書 P55～P58 過去問題演習		
10	商品知識④		教科書 P59～P63 過去問題演習		
11	商品知識⑤		教科書 P64～P72 過去問題演習		
12	商品知識⑥		教科書 P73～P81 過去問題演習		
13	商品知識⑦		教科書 P82～P86 過去問題演習		
14	商品知識⑧		教科書 P87～P93 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	商品素材知識B				
担当教員	宮田 遼		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 ファッションスタイリスト科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定Ⅰの知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動、商品素材知識、VMDの理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定3級合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売3 / ファッション販売能力検定試験問題集 3級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識⑨		教科書 P94～P101 過去問題演習		
2	商品知識⑩		教科書 P102～P105 過去問題演習		
3	商品知識⑪		教科書 P106～P111 過去問題演習		
4	商品知識⑫		教科書 P112～P117 過去問題演習		
5	小テスト		小テスト		
6	商品知識⑬		教科書 P118～P123 過去問題演習		
7	商品知識⑭		教科書 P136～P141 過去問題演習		
8	商品知識⑮		教科書 P142～P145 過去問題演習		
9	商品知識⑯		教科書 P146～P151 過去問題演習		
10	小テスト		小テスト		
11	売り場づくり①		教科書 P152～P159 過去問題演習		
12	売り場づくり②		教科書 P160～P165 過去問題演習		
13	売り場づくり③		教科書 P166～P170 過去問題演習		
14	売り場づくり④		教科書 P171～P173 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	後期試験		後期試験		
20	試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下) とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	アパレル企業で10年間ショップの店長を担当				

科目名	就職実務 I				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	意識づけ、働くとは。		なぜ働くのか？パワーポイントでアルバイトやフリーターの違いや働く意義について		
2	ライフデザインナビ入力		ライフナビ入力を携帯で入力し、後日データでフィードバック		
3	企業が求めている人材とは。		アパレル業界企業が求めている人材について資料に基づき解説		
4	就職のしげジュールや企業研究方法		就職のスケジュールを解説。学生時代に何を取り組めば良いのなどを解説		
5	効果的な自己PRの方法		プレゼンテーション面接でのコツ		
6	就職マナー指導研修 挨拶・電話・言葉使い		挨拶・マナー・言葉使い指導		
7	履歴書を書いてみよう。注意点を説明(宿題)プリント配布		履歴書の書き方、評価のポイントなどについて指導		
8	自己分析PRを考える。効果的な自己プレゼンテーション		自己PRを考える。過去の自分の振り返り		
9	アパレル業界の仕組み職業理解を深める		アパレル業界の職種について解説		
10	企業研究の方法・手段について		企業研究の方法や手段について学ぶ		
11	エントリーシート対策		複雑化するエントリーシートを実際に記入してみる		
12	インターンシップ・就職研修のいろいろ		インターンシップのマナー・就職研修について解説		
13	企業へのアポイントの取り方(訪問の方法)		企業様への訪問のマナーやルール		
14	企業へのアポイントの方法(電話・メールでのマナー)		企業様への電話やメールでの問い合わせ方法を学ぶ		
15	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
16	自己分析PRを考える。		自己PR文章制作		
17	実践行動学 1 第4章		実践行動学をつかった意識付け授業第4章を行う		
18	実践行動学 1 第5章		実践行動学をつかった意識付け授業第5章を行う		
19	スーツ着こなし講座(男女別)		リクルートスタイルの着こなしについて		
20	人事講演会		大手アパレル人事担当者の特別講演会		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	就職実務 I				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の基本的なマナーを学ぶ 2、企業研究の方法を知る 3、自己研究を深め面接に活かす				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	就職活動の手段・方法についてPCでエントリーしてみる。活動の心構え		エントリーとは		
2	コミュニケーション検定対策1		コミュニケーション検定対策授業		
3	コミュニケーション検定対策2		コミュニケーション検定対策授業		
4	コミュニケーション検定対策3		コミュニケーション検定対策授業		
5	コミュニケーション検定対策4		コミュニケーション検定対策授業		
6	コミュニケーション検定対策5		コミュニケーション検定対策授業		
7	コミュニケーション検定対策6		コミュニケーション検定対策授業		
8	コミュニケーション検定対策7		コミュニケーション検定対策授業		
9	コミュニケーション検定対策8		コミュニケーション検定対策授業		
10	コミュニケーション検定対策9		コミュニケーション検定対策授業		
11	コミュニケーション検定対策10		コミュニケーション検定対策授業		
12	合同企業ガイダンスについて		合同企業ガイダンスについて解説		
13	OBOG訪問について		OBOG訪問でのマナー		
14	グループディスカッション対策		グループディスカッション対策		
15	女子メイク講座① 男子面接練習①		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
16	女子メイク講座② 男子面接練習②		女子リクルートメイク講座・男子面接練習		
17	内定者からの話		先輩の内定者座談会を開催。就職での苦労点など		
18	就職研修宿泊予定		就職のための合宿予定		
19	求職登録面接		学内面接会開催		
20	就職実務・保護者との3者面談情報の共有について		3者面談での企業研究の方法		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
面接評価・履歴書や自己PR文章での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アメリカ・ロサンゼルスについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	アメリカ・ロサンゼルスについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	アメリカ・ロサンゼルスについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	アメリカブランドの歴史		アメリカを代表するブランド講義		
5	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業①		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
6	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業②		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
7	アメリカ・ロサンゼルス バーチャルバイイング授業③		現地在住バイヤー講師からのバイイング理論講義		
8	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
9	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
10	アメリカ・ロサンゼルス 映画衣装デザイン授業①		ハリウッドFIDM校との提携授業		
11	韓国・ソウルについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
12	韓国・ソウルについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
13	韓国・ソウルについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
14	韓国ファッション論①		韓国のファッション歴史や特徴講義		
15	韓国ファッション論②		韓国のメイク歴史や特徴講義		
16	フランス・パリについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
17	フランス・パリについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
18	フランス・パリについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
19	フランスブランドの歴史①		フランスを代表するブランドからの講義		
20	フランスブランドの歴史②		フランスを代表するブランドからの講義		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
レポート評価：100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各国、各都市の特徴、歴史をよく理解し、意欲的な姿勢で授業に臨むこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	異文化研究				
担当教員	神戸 悠太	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションデザイン科、 ファッションスタイリスト科、 コスチュームデザイン科、 ファッションビジネス科、 大学併修ファッション科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業形態	対面授業のみ	対面授業と遠隔授業の併用		遠隔授業	
授業概要、目的、 授業の進め方	1.海外研修旅行の準備を通じ国際的感覚の育成 2.海外ファッション、アパレルの知識の習得 3.輸入、関税の仕組み、留学に対する知識の習得				
学習目標 (到達目標)	研修旅行の準備を通じ、海外旅行に必要なプロセスの習得及び、国際感覚を身につけることが目標				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	イタリア・フィレンツェについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
2	イタリア・フィレンツェについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
3	イタリア・フィレンツェについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
4	イタリア・ミラノについて①		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
5	イタリア・ミラノについて②		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
6	イタリア・ミラノについて③		スライド資料で都市の歴史・特徴講義		
7	イタリアブランドの歴史		イタリアを代表するブランド講義		
8	モードファッションについて		フランス在住デザイナーからの講義		
9	海外研修旅行について①		研修内容講義		
10	海外研修旅行について②		研修内容講義		
11	海外研修旅行について③		パスポートについて講義		
12	海外研修旅行について④		クレジットカード・海外通貨について		
13	海外研修旅行について⑤		研修先企業について講義		
14	海外研修旅行について⑥		研修先企業について講義		
15	海外研修旅行について⑦		研修先企業について講義		
16	海外研修旅行について⑧		研修中注意事項①		
17	海外研修旅行について⑨		研修中注意事項②		
18	海外研修旅行について⑩		出発前の最終注意事項		
19	研修期間①		研修先での研修及び演習		
20	研修期間②		研修先での研修及び演習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：研修後レポート 授業態度：研修後レポート80% 授業態度(研修態度)20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			セキュリティや治安をよく理解し、協力的な団体活動を行うこと 研修先では前向きで意欲的に学ぶこと		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				